

2001年11月28日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ライセンシング コンベンション - ジャパン イベントに 200 名が出席

ノバルティス ファーマ株式会社（社長：通筋雅弘）とノバルティス ファーマ社（スイス・バーゼル市）は、11月28日に東京国際フォーラムにおいて「ノバルティス ライセンシング コンベンション - ジャパン イベント 2001」を開催しました。

イベントには、日本の製薬企業、化学・バイオ関係の企業、研究所、ベンチャー企業、技術移転機関（TLO）など約100社から、ライセンス担当者及び責任者が約200名出席しました。

冒頭、ノバルティス ファーマ（株）の社長 通筋雅弘は、このイベントにより、ワールドワイドのノバルティス ファーマと日本の製薬関連企業、研究所などとの交流がより盛んになることに期待感を表明しました。

ノバルティス ファーマの最高経営責任者（CEO）トーマス・エベリングは、“頼れるパートナー：ノバルティス”について講演しました（エベリングのコメントは別紙参照）。

また、米国ノバルティス ファーマ社の社長パウロ・コスタは米国ノバルティス ファーマの現状と将来の展望について、さらにスイス・ノバルティス ファーマの研究部門担当役員ポール・ヘリングは、ポストゲノム時代の科学と未来のブロックバスターについて、それぞれ紹介しました。

なお、講演会の終了後に行われた懇親会では、基礎研究およびがん、移植、循環器、炎症・骨代謝、神経・消化器、呼吸器・皮膚、眼科の各疾患治療領域ごとにブースが設けられ、日本企業のライセンシング担当者と主要国から来日したノバルティスのライセンシング担当者や治療領域担当者と個別に活発な情報交換が行われました。

外資系製薬会社が、このような規模でライセンシングのイベントを開催したのは初めてのことであり、製薬業界からもその成果について注目を集めていました。このイベントを通じて、日本の企業とのコンタクト強化、積極的な情報交換を図ることができ、所期の目的を十分に達成することができました。

ノバルティス ファーマ（株）の専務取締役事業開発本部長 大橋勇郎は、今回のイベントの成果について、次のように強調しました。

「このイベントは成功裡に終えることができましたが、日本企業のグローバルに向けての新薬創出に、ノバルティスがいかに貢献できるかは、私たちの今後の努力にかかっています。そういった意味でもワールドワイドのノバルティスグループが一丸となってこの機会をさらに発展させるべく邁進したいと思います」

以上